

動作確認チェックシート

検査日	2024年 8月 26日	(機械の仕様・規格を記入する。)			
商品名	CO ₂ インキュベータ	電源電圧	単相115V, 3A	使用温度・制御	室温+5~50℃, ±0.1℃
型式	320	周波数	50/60Hz	CO ₂ 設定・制御	0.0~20.0%, ±0.1%
メーカー名	Thermo Fisher Scientific	大きさ(W×D×H)	663×627×978mm	湿度制御	加湿バットによる自然蒸発方式
機械Ser.No	300178123	内容量	約187L	棚	2段
製造年月	2017年11月	内寸(W×D×H)	541×508×681mm	重量	95.3kg

チェック項目	主な確認内容	チェック(○×)
1 外観	筐体・キャスター・継手・スイッチ等に著しいキズ・破損・動作不良はないか。	○
2 起動動作	POWER ON時に異常(異音・異臭・漏電・暴走・アラーム表示等)はないか。	○
3 SW設定	SWの機能は正常か。	○
4 保管・出荷準備	水抜き・ビス締め・清掃・入庫元に関するシール等を取り除く。	○
5 確認シール	動作確認済シールを貼る	○

備考(動作確認内容・不具合内容等) 機器の仕様・規格を満たす事を確認する。

- 現状2台の装置が2段積み状態となっている。対象は下側の装置になる。
- アクセスポートに比較用の熱電対を挿入。加湿バットに蒸留水を入れ運転。
 - (1)温度50.0℃、CO₂ 5.0%に設定して確認。運転後約3hで49.8℃(さちり状態)、6.3%となった。熱電対温度は50.5℃。熱電対温度と表示に若干差はあるが問題なし。CO₂はアクセスポートを熱電対で塞いだ影響と推定し、熱電対を取外し、アクセスポートフィルタを付けた状態で室温から再度確認実施。表示は49.8℃、5.0%で安定し問題なかった。
 - (2)一般的に使用される37.0℃、5.0%設定で確認。表示は37.0℃、5.0%で安定。熱電対は37.1℃で問題なかった。



取扱説明書(有) ※キャリブレーションは未実施。(お客様所有の標準機(温度計、CO₂濃度計)での実施をお願いします。)

修理・改造履歴

年月日	修理・改造記録	作業者

File Maker入力 動作(OK) 作業工数[10H] 検査担当者[野沢]	(備考欄コメント) 背面から出ているケーブル端子(CH1~CH4)は詳細不明 確認時アルコール清掃していますが、使用時は除染を実施願います。	[責任者]
--	--	-----------